



ちばりは ニュース

2015年11月発行 第22号
千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005
千葉市緑区誉田町1-45-2
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857
ホームページアドレス
<http://www.chiba-reha.jp/>

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理念

「誰もが街で暮らすために」
Everybody will be in own town
—私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。

～看護のスペシャリストたち～

センターの専門看護師・認定看護師をご紹介します

患者さんの困りごとに対応したり、生活の質を向上するために、特定の分野でスペシャリストとして活躍する看護師が居ます。それが、**専門看護師**、**認定看護師**です。専門看護師は看護系大学院の修士課程を経て、認定看護師は6か月の教育を受けて認定される資格です。

高い専門性を持って活躍している当センターの専門看護師、認定看護師に具体的な活動内容を紹介してもらいました。

老人看護専門看護師

～高齢者にとっての健康な生活を支える～



江尻友理子さん

専門看護師として「高齢者にとっての健康な生活」を支えていけるように病棟のスタッフと一緒に実践しています。病院によっては、病棟を離れて横断的に活動する専門看護師もいますが、私は**病棟の一スタッフとしてより患者さんと近い場で活動しています**。患者さんの思い、家族の思い、スタッフの患者さんに対する思いや考えも大切にしながら、よりよいケアができるように心掛けています。

専門看護師の六つの役割

教育

センター内の研修の立案・実施のほか、大学などセンターの外の授業・研修においても講師として参加しています。

研究

自身の研究活動だけでなく、スタッフへの研究指導も行います。

実践

体調を崩しやすい高齢の患者さんに対し、リハビリができるような体づくりや、環境の調整を行っています。



倫理調整

患者さんの抱える問題に対して、調整役として支援します。

相談

他のスタッフからの相談を受け、時には多職種で話し合いを行い、統一した対応が取れるようにしています。

調整

必要なケアが円滑に行われるために、保健医療福祉に携わる人々の間で調整を行います。

私は以前勤務していた病院で「患者さんのために何もできなかった」という経験があり、もっと高齢者ケアについて勉強したいと思い、専門看護師の資格取得を目指しました。大学院における学業とセンターの仕事の“二足のわらじ”の生活となりましたが、病棟のスタッフはよく励ましてくれて、海外への長期研修にも暖かく送り出してくれました。

今後は、センター全体の高齢者ケアについて、より一層の質の向上を目指していきたいです。

脳卒中リハ認定看護師 ～多職種連携の調整役～



越野明子さん

脳卒中や頭部外傷、神経疾患を発症した患者さんを対象に、健康管理の実践と指導を行っています。多くの方が高次脳機能障害を併発していることから、**障害と上手く折り合いをつけながら入院生活、そして社会へと戻る準備を多職種スタッフのチームで実践しています。**

病棟の職員に対しては、損傷した脳や神経の部位に応じて、症状や障害、今後起こり得ることを説明して、患者さんご本人とご家族への支援方法をアドバイスしています。そして多職種のチームの中では、看護の視点から他のスタッフへ情報を発信しています。

これまで、回復期から生活期の時期にある患者さんとそのご家族に対して生活を再構築していく過程を支援してきましたが、多職種がそれぞれの専門性を活かし、チームで働くことにやりがいを感じていました。その中で、看護師が一番多くの時間を患者さんやご家族と過ごし、体と心の変化をより多く捉えられることから、チームの中で調整役を担っています。私はさらに知識を増やし、実践を重ねて調整力を付けたいと思い、認定看護師の資格を取得しました。今後は、リハビリテーション医療施設の脳卒中リハビリテーション看護がより充実し、皆様の



摂食・嚥下障害認定看護師 ～「食べたい」「食べさせたい」を大切に～



津島久美さん

病棟では、**入院患者さんの摂食・嚥下機能（食べる・飲み込む機能）や栄養に関して相談を受けたり、評価に基づいた看護の提供を行っています。**また、月に1～2回、**摂食看護相談外来**を行い、家族からの相談を受けて、指導を行っています。センターでは、摂食・嚥下や栄養に関して多くの職種が関わっているので、例えば、機能の評価について療法士と一緒に評価を行い、結果のすり合わせも入念に行います。

スタッフへの指導としては、看護局全体の研修・勉強会を行うほか、病棟でも10分勉強会と題した簡単なレクチャーを定期的に行っています。

資格の取得は、小児病棟へ配属されて、摂食・嚥下障害に対して、専門知識が無く何も出来なかったことがきっかけでした。認定看護師になるためには、認定課程（6ヶ月間）に入学する必要がありますが、通常勤務を行いながらの受験勉強と入学後の学習はとても大変でした。辛いことも多かったのですが、先輩の認定看護師から多くのアドバイスを頂き、病棟のスタッフも笑顔で応援してくれました。実習やレポートで忙しく週末の帰宅も出来なくなると、家族が会いに来てくれました。看護局や病棟スタッフ、家族の励ましでここまで来れたと思います。

これから、「食べたい」「食べさせたい」気持ちを大切に、笑顔を増やしていける



このように、本人の高い意識と努力、そして周りのサポートにより資格を取得した専門看護師・認定看護師が患者さんへのよりよい看護を提供すべく、周りの仲間と一緒に活動しています。専門看護師・認定看護師は日本看護協会が認定する資格ですが、ほかにも、回復期リハビリテーション看護師、重心看護師（重症心身障害福祉協会）、呼吸療法認定士、弾性ストッキングコンダクター、はたまた、笑い療法士など様々なジャンルの資格を持つユニークな看護師がたくさんいます。

センターでは、これからも様々な資格取得を推進し、より質の高い看護の提供を目指します！

千葉リハ公開講座を開催しました

平成27年7月18日（土）、当センター大ホールをメイン会場に、第15回千葉県千葉リハビリテーションセンター公開講座「みんなで考えよう こどものリハビリテーション～子ども達に輝く笑顔を！～」を開催しました。

小児科医であり、こどもの在宅医療の先駆的存在として知られる前田浩利先生による講演「小児在宅医療の現状と展望」のほか、「こどもの運動機能や心の育みを医師・看護師・療法士・保育士などの多職種連携で行う取組み」のリレー講演や福祉用具の展示、センター職員による各種体験コーナーを実施しました。

当日は暑い中でしたが、190名の方にご来場いただきました。ありがとうございました。



前田先生による講演



こどもの福祉用具展示



スヌーズレン体験



摂食体験コーナー



チーバくんやご当地キャラがお出迎え！

脊髄損傷者のための社会参加ガイドブック



当センターでは、全国脊髄損傷者連合会が発行する社会参加のためのガイドブック「Together」の編集に協力しています。このガイドブックは、脊髄損傷患者や障害者の社会参加に必要な情報をコンパクトにまとめ、本来持っている能力を発揮し、自立した社会生活ができるよう支援することを目的に制作されています。

1冊ごとに特定のテーマを取り上げ、当事者の声を紹介するほか、吉永センター長をはじめ、センターの多職種の職員が解説を執筆しています。

これまでに「排泄管理」「車いす」「褥瘡」「住宅改造」「移動と自動車運転」「エンパワーメント」「エンジョイスports」の7冊が発行されています。

下記のホームページよりダウンロードが可能ですので、ぜひご覧ください。

紙面の一例

(左) ⑥エンパワーメント

(右) ⑦エンジョイスports

(公社) 全国脊髄損傷者連合会 ホームページ
<http://www.zensekiren.jp/>

**第11回高次脳機能障害リハビリテーション
千葉懇話会（ご報告）**

平成27年9月28日（月）京葉銀行文化プラザにて、**第11回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会**を開催いたしました。

今回は就労をテーマに、前半は障害者職業総合センターの田谷様から高次脳機能障害者の就労状況について、また高次脳機能障害者の受け入れが複数名ある県内企業からは就労支援の取組みについて紹介していただきました。後半は高次脳機能障害者のご家族でイラストレーターの柴本様に家族のサポートについてお話いただきました。

医療・福祉・就労の立場で当事者や家族の支援に関わる多くの方々に参加いただきました。今後も皆様のアンケートなどを参考にテーマを取り上げてまいりますので、ご協力、ご参加をお願いいたします。

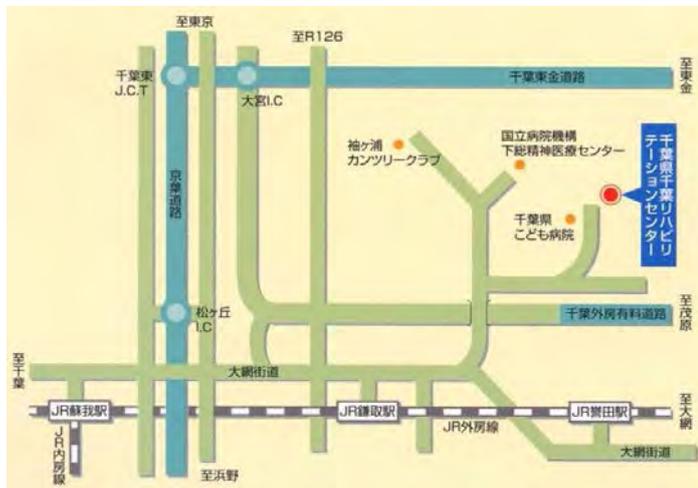


講演の様子



質疑応答

センター案内図



イベント開催のお知らせ

**第13回脊髄損傷リハビリテーション講習会
「脊髄損傷者の生活を豊かに」**

日時：12月6日（日）13:00～16:00
場所：千葉リハビリテーションセンター大ホール
講演1 自分らしく生きる（講師：高知ハビリテーションセンター 上田真弓氏）
講演2 生活を支える自助具
企業による福祉用具等の展示も行います。

**第9回千葉県地域リハビリテーションフォーラム
「地域包括ケア構築に向けた地域リハの関わり」**

日時：1月16日（土）13:00～16:30
場所：千葉市文化センターアートホール
講演 地域包括ケアとリハビリテーション
～介護予防を中心に～
（講師：千葉大学予防医学センター 近藤克則氏）

※同日10:00～11:50、同会場においてリハ専門職等を対象として**第1回千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会**を開催いたします。

第12回高次脳機能障害リハビリテーション講習会

日時：1月24日（日）13:00～15:00
場所：千葉市文化センターアートホール
講演 高次脳機能障害を理解する 家族として精神科医として（講師：なやクリニック 納谷敦夫氏）

詳しくはセンターHPをご覧ください。

車のご利用

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バスのご利用

- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約40分
- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分

無料送迎バスのご案内

平成26年8月1日改定

（センター⇄JR鎌取駅 循環運行）

JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	10 30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20 40
12	10 30 50	40
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	03 23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13 33
12	03 23 43	33
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

- ①センター送迎バス発着場所について
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近
（専用のバス停はございません）
センター発・・・センター正面玄関前
- ②車椅子ご利用の乗車定員について
中型バス（黄色）・・・2名
マイクロバス（水色）・・・3名
- ③日曜・休日は運休となります。
- ④道路混雑等により遅延する場合があります。